

9

次の1から5までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

1 かぜをヨボウする。

2 祭りの日程をケントウする。

3 あいさつをカわす。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 筆に勢いがある。

2 生産量が増える傾向にある。

3 目上の人を敬う。

三 次のアからカの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア シューベルトの名曲を (1 感傷 2 鑑賞 3 観賞 4 干渉) する。
- イ 旅行に備えて (1 緊密 2 精密 3 綿密 4 親密) な計画を立てる。
- ウ いたずらをして、しかられても (1 暑い 2 暖かい 3 寒い 4 涼しい) 顔をしている。
- エ 参観日には父が学校へ来ると (1 申して 2 おっしゃって 3 話されて 4 申されて) おりました。
- オ 問題を解決するために知恵を (1 けずる 2 とげる 3 しぼる 4 さぐる)。
- カ 彼は、困難な仕事を (1 いかに 2 いずれ 3 いても 4 いまだ) 簡単にやっけてのけた。

四 次の1と2の文には、それぞれ「行う」、「きれいだ」という語が使われています。□ に当てはまるように、これらの語を活用させてそれぞれ書きなさい。

- 1 「行う」 ↓ 雨が強いので、野外での観察は□ ないことにします。
- 2 「きれいだ」 ↓ 晴れた日には、ここからでも富士山が□ 見える。

五 次は、中国の『韓非子』^{かんぴし}という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

楚人^{そひと}に、盾と矛とをひさぐ者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすものなし。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利きこと、物においてとほさざるなし。」と。ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾をとほさばいかん。」と。その人、こたふることあたはざりき。

(竹内照夫『新釈漢文大系 第12巻 韓非子(下)』による。)

【B】

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて、「わたしの盾の堅いことといったら、突き通せるものはない。」と言った。また、その矛をほめて、「わたしの矛の鋭いことといったら、どんなものでも突き通さないことはない。」と言った。ある人が、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と尋ねた。その人は答えることができなかった。

1 ——— 線部「いかん」の意味を【B】の中から抜き出しなさい。

2 【A】の話から「矛盾」という言葉が生まれました。この言葉の使い方として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 忘れ物をしないかと気にしすぎて、何度も持ち物を確かめるのは矛盾している。
- 2 紙の無駄づかいを注意するプリントを作りすぎて捨てているのは矛盾している。
- 3 同じことを何度注意されても自分の短所を改めようとしなのは矛盾している。
- 4 テストが近づいたので、計画を立てて一生懸命に勉強をするのは矛盾している。